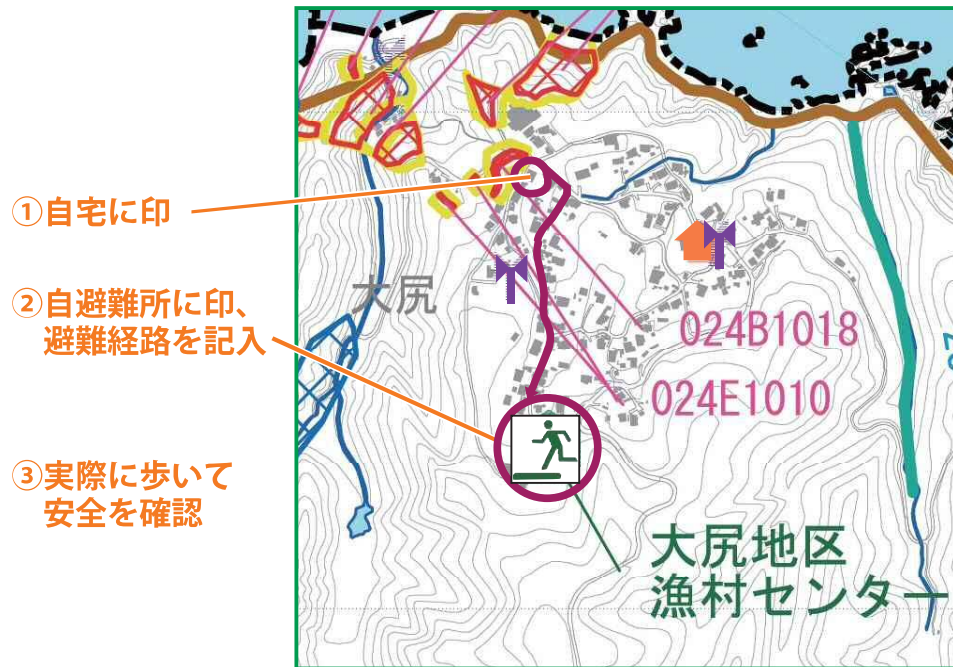


# はじめに

## 総合防災ハザードマップの使い方

- ①自宅の位置に印をつけましょう。
- ②災害ごとに避難場所に印をつけ、避難経路を記入しましょう。  
(避難経路を決める際には、できるだけ土砂災害危険箇所やアンダーパスなどを避けましょう)
- ③実際に避難経路を歩いて、安全を確認しましょう。
- ④家族で話し合い、いざという時の避難場所や連絡の取り方などを確認しましょう。
- ⑤地域のみなさんと、災害時や避難時に協力し合うよう話し合いましょう。



## もくじ

◎はじめに	1
◎洪水・土砂災害ハザードマップの見方	2
◎過去の災害	3
◎災害発生のしくみや災害の形態	4～5
◎洪水・土砂災害への備え	6
◎災害が起こりそうなときは	7～8
◎避難のときは（洪水・土砂災害のとき）	9～10
◎洪水・土砂災害ハザードマップ	11～33
◎地震・津波ハザードマップの見方	34
◎津波災害の歴史	35～37
◎災害発生のしくみや災害の形態	38～41
◎久慈港周辺の状況	42
◎久慈港の津波対策	43
◎地震・津波災害への備え	44～45
◎地震が発生したときには	46～48
◎液状化危険度マップ	49
◎地域の危険度マップ	50
◎津波ハザードマップ	51～60
◎避難場所・避難所	61～63
◎防災関連情報の入手先	64
◎安否確認	65
◎非常用持ち出し品・備蓄品	66
◎わが家の防災メモ	